

氏名	大 橋 洋 三		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	博 乙 第 2294 号		
学 位 授 与 の 日 付	平成 3 年 6 月 30 日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	男子不妊症における精細管内アンドロゲンレセプターの研究		
論 文 審 査 委 員	教授 関場 香	教授 太田善介	教授 産賀敏彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

特発性男子不妊症患者61例（無精子症 5 例，乏精子症56例）における精細管内アンドロゲンレセプター（AR）を測定し検討を加えた。

前立腺癌に対する除精巣術より得られた精細管における基礎的検討では，total intratubular extractを調整し，microreceptor assay にて微量の生検量にて精細管内ARの測定が可能であることを証明した。

特発性男子不妊症患者61例中精細管内ARが低値であるものは8例あり，精細管内AR正常群に比し血中LH，testosterone（T）×LHは有意に高値を示した。しかし，Johnsen's score count，血中T，FSH濃度には有意差を認めなかったことより，精細管内AR低値例は視床下部での何らかのARの異常が存在することが示唆された。精細管内ARレベルと精細管内T，5 α -dihydrotestosterone 濃度との関連性を検討したが関連性は認められず，精細管に対するandrogenの作用はどちらが主体かは不明であった。男子不妊症におけるandrogen 不応症の証明には精細管内ARの測定が重要であることが示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

特発性男子不妊症の患者で精細管内 Androgen Receptor（AR）が低値であるものは正常群に比し血中LH，Testosterone（T）×LHが有意に高値を示し，血中T，FSHは有意差がないことより精細管内AR低値例は視床下部に何らかのARの異常があることを推定し，男子不妊症における Androgen不応症の証明には精細管内のAR測定が重要であることを示した。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。